

このページは白紙です

バイヤーズガイド Buyers' Guide

マック本体

iMac と 20 万円未満の旧 G3 が狙い目

活気を取り戻しつつあるマックの本体

iMac は周辺機器にさえ気をつければ、買って損のないマシン。コスト・パフォーマンスは群を抜く。

Power Mac G3 シリーズでは市場から姿を消しつつある旧 G3 DT 266 がお勧め。運が良ければビデオ性能も新機種並み。

上位機は価格と在庫薄がネックの PowerBook G3 シリーズ。新型の PowerBook G3 233/14 が狙い目か？

待望の新しいコンシューマー向け一体型マック「iMac」が日本国内でも98年8月末に出荷された。初回入荷分はあっという間に売り切れたが、45ページに掲載した価格性能グラフをみると、それもうなずける。ざん新なのは、きょう体に半透明の素材を採用したスタイルだけでない。コスト・パフォーマンスも群を抜いて高いのだ。性能の絶対値も Power Mac G3 DT 233 をわずかながら上回る。買って損のないマシンである。付属ソフトも「クラリワークス」が入ったことで、多くのユーザーは納得できるはずだ。

ただiMacにはこれまでのマックとは違う仕組みが多く含まれているので注意が必要だ。iMacは周辺機器接続のための規格として新しくUSBを採用、従来のSCSIやADB、シリアルポートを搭載しない。またフロッピー・ディスク・ドライブを装備しない。ほかのマックと同様に考えていると痛い目に合うこともある。

重要なのは今はできなくても近く可能になるのか、それとも、未来永劫できないままなのか、別の代替手段で対応できるのかどうか、などをしっかり理解しておくことだ。

もしiMacを購入しようと考えているのなら、本号140ページ「Nikkei Mac Report」も参照していただきたい。さらにホームページなどでiMacについての情報を詳しく調べてからにするのがよいだろう。

iMacはどこで買えばいいの？

ユーザーが「さあ、iMacを買おう」と思ったときに問題になるのが、どこで購入すればいいのかという基本的なことである。これまでは“リンゴ”マークの正規代理店に行けば、在庫の有無はともかく、買えないマックはなかった。だがiMacは例外。アップルとiMacについて提携した販売店以外では購入できない。マックを売っている販売店ならどこでも買えるわけではない。特に地方のユーザーがiMacを購入するのは大変だ。例えば8月末時点で、四国でiMacを販売できるのは、わずか2店舗でしかない。

今後、アップルとiMacの販売について提携した店舗については、日経MACのWebサイト「NIKKEIMAC.COM」(<http://www.nikkeimac.com/>)で随時お知らせする。また

製品名	CPU (PowerPC)	CPU動作 周波数 (MHz)	搭載OS	HD (MB) / インタ フェース	標準 / 最 大メモリ (MB)	2次キャッシ ュ (KB)	内蔵CD- ROMド ライブ	PCIスロ ット数	付属拡張カード
iMac	750	233	Mac OS 8.1	4000 / IDE	32 / 192	512	24倍速	-	内蔵56kbpsモデム
Power Macintosh G3 MT 333	750	333	Mac OS 8.1	9000 / Wide Ultra SCSI	128 / 768	1024	24倍速	3	Wide Ultra SCSIカード
Power Macintosh G3 MT 300	750	300	Mac OS 8.1	8000 / IDE	64 / 768	1024	24倍速	3	-
Power Macintosh G3 MT 300 グラフィックス コンフィギュレーション	750	300	Mac OS 8.1	4000 x 2 / Wide Ultra SCSI	128 / 768	1024	24倍速	3	iX3D Ultimate Rez, 100BASE-TX Ethernetカード, Wide Ultra SCSIカード



iMacの販売提携店一覧はアップルのiMacホームページ (<http://imac.apple.co.jp/shop/list.html>) を参照してほしい。

コンシューマー向けのマシンをユーザーが手に入れるために、こんなに苦労しなければならないのはおかしなことである。アップルには幅広い販売店網の形成と、十分な台数の供給をお願いしたいものだ。

動作周波数を引き上げた新G3シリーズが登場

一方、「Power Macintosh G3」シリーズも98年8月にマイナーチェンジを受け、最上位モデルに動作周波数333MHz版PowerPC 750を搭載したハイエンド・マシン「Power Macintosh G3 MT 333」をデビューさせた。

新しいG3シリーズに搭載するCPUの動作周波数は、デスクトップ型2モデルが266MHzと300MHz、ミニタワー型の2モデルが300MHzと333MHz。CPU動作周波数だけではなく、ハード・ディスクや出荷時の搭載メモリーも増加するなど、全体的に価格性能比が向上した。

新シリーズはROMのコードを改良することにより、サードパーティー製のPCI拡張ボックス(42ページの表1参照)に対応したのが最大の特徴。ロジック・ボード上のグラフィックス・アクセラレーターも、従来のカナダATI Technologies社製「3D RAGE II」から、より性能の高い「3D RAGE PRO」に変更した。

300MHzのCPUを搭載する2モデルは「Zip」ドライブを標準装備、さらに300MHzのミニタワー型はAV入出力機能を持つ。また最上位モデルのPower Macintosh G3 MT 333

は標準でWide Ultra SCSIのPCIカードを装備する。

旧G3のDT 266がお薦め

今、G3を購入しようと考えている人にとって悩ましいのは、新シリーズのG3にするか、マイナーチェンジ前の旧G3にするかだろう。9月上旬時点で、すでに旧シリーズの在庫は少なくなっているが、かなり値がこなれてきている。

新G3シリーズが発表されたときの「売り」の1つは、最大搭載可能メモリーが旧シリーズの384MBから768MBに拡大されたことだった。しかしその後、Appleは旧G3シリーズでも768MBでの動作を保証すると発表したもので、メリットは1つ減った。また新G3シリーズに搭載されるビデオチップ3D RAGE PROは、実は旧G3シリーズの後期のロットにも組み込まれているのだ。ただし旧G3シリーズを購入しても3D RAGE IIと3D RAGE PRO、どちらが搭載されたロジックボード入りなのかは残念ながら運次第だ。

9月初旬でのお薦めは、マイナーチェンジ前の「Power Macintosh G3 DT 266」だ。このモデルはZipドライブが付い

表の見方

現在市場で入手可能な、マック本体、PowerBookをまとめた。秋葉原のSofmap、T-ZONE、ラオックスの3店、および新宿のヨドバシカメラ Apple Graphic Corner、ビックパソコン館の2店、計5店で取り扱い状況および実売価格の状況を調べ、「市場平均価格」とした(98年8月下旬現在)。



入手容易マーク
上記5店すべての店頭で
取り扱いがあったもの



お買い得マーク
実売価格、値引き
率などから判断



価格Down予想マーク
今後、価格の下落が予想
されることを示す

VRAM 標準/最大 (MB)	800 x 16	19	21	1280 x 1024	1600 x 1200	Ether netポート	幅 x 高さ x 奥行き (mm)	重さ (kg)	その他	市場平均価格
2 / 6	24	24	24	16	-	-	1 380 x 395 x 440	17.3	内蔵15インチ・ディスプレイ、USBポートx2	17万8000円
6	24	24	24	24	24	8	245 x 385 x 435	15		44万8000円 ²
6	24	24	24	24	24	8	245 x 385 x 435	15	Sビデオ入出力端子、内蔵Zipドライブ	34万8000円 ²
6	24	24	24	24	24	24	1 245 x 385 x 435	15		58万8000円

1 100BASE-TXポートを搭載。
2 98年9月上旬発売。本誌予想価格を掲載した。



図1 iMac



図2 Power Macintosh G3 MT 266



図3 Power Macintosh G3 DT (Zip内蔵モデル)



図4 Power Macintosh G3 DT

て、実売価格23万円弱で購入できる。同じ動作周波数のCPUを搭載する新「Power Macintosh G3 DT 266」の実売価格もやはり23万円弱。しかし、こちらはZipドライブを装備しない。運よく改良型ボード搭載の旧Power Mac G3 DT 266が入手できればお買得。ただ在庫が少ない。一方、G3シリーズ標準の3つのPCIスロットでは足りない作業がしたいユーザーは、表1のPCI拡張ボックスに対応した新シリーズを購入した方がよいだろう。

旧G3 DT 233も在庫は少ないがお勧め

旧G3シリーズの最下位モデルである「Power Macintosh G3 DT 233」の実売価格は18万円程度だ。これなら17インチの「トリニトロン」ディスプレイをともに購入しても、25万円以下で買える。手持ちの周辺機器をすぐ使えて、とにかく安く新品のG3を手に入れたいならこれしかないだろう。ただ、このモデルは8月末時点で在庫がほとんどなかった。

ハイエンドのベース・モデルなら新シリーズ

動作周波数300MHz以上のCPUを搭載するモデルの中で、一番安く買えるのは新シリーズの「Power Macintosh G3 DT 300」だ。現在のほぼハイエンドといえるの性能が28万円台で入手できる。ハード・ディスクも6GBと十分だ。

逆に手を出さない方がよいのは「Power Macintosh G3 MT 300 グラフィックスコンフィグレーション」。このモデルの価格は58万円台。34万円台の新「Power Macintosh G3 MT 300」にプラスして、15万円程度の増設機器の出費を考えれば同じ構成のマシンになるのだ。しかも新Power Macintosh G3 MT 300はSビデオ入出力端子、内蔵Zipドライブも標準搭載するので買うならこちら。

中古のマックを購入してG3にするのは割高

G3以前の中古のPCIマック（「Power Macintosh 8600」「Power Macintosh 7600」など）を新たに購入して、CPU

表1 アップルが動作を確認したPCI拡張ボックスの開発元と日本販売代理店

開発元	ホームページ	日本販売代理店	電話	ホームページ
米Second Wave社	http://www.2ndwave.com/	アイ・エム・エム・イー	☎(03)3423-5340	http://www.imme.co.jp/
米SBS Bit3社	http://www.bit3.com/	ソリトンシステムズ	☎(03)3356-5561	http://www.soliton.co.jp/
米MAGMA社	http://www.magma.com/	オービット	☎(03)5486-7021	http://www.musetex.co.jp/

製品名	CPU (PowerPC)	CPU動作周波数 (MHz)	搭載OS	HD (MB) / インタフェース	標準 / 最大メモリ (MB)	2次キャッシュ (KB)	内蔵CD-ROMドライブ	PCIスロット数	付属拡張カード
Power Macintosh G3 MT 300 (旧)	750	300	Mac OS 8.1	4000 / Wide Ultra SCSI	64 / 768	1024	24倍速	3	Wide Ultra SCSIカード
Power Macintosh G3 MT 266 (旧)	750	266	Mac OS 8	6000 / IDE	32 / 768	512	24倍速	3	-
Power Macintosh G3 DT 300	750	300	Mac OS 8.1	6000 / IDE	64 / 768	1024	24倍速	3	-
Power Macintosh G3 DT 266	750	266	Mac OS 8.1	4000 / IDE	32 / 768	512	24倍速	3	-
Power Macintosh G3 DT 266 (旧)	750	266	Mac OS 8	4000 / IDE	32 / 768	512	24倍速	3	-
Power Macintosh G3 DT 233 (旧)	750	233	Mac OS 8	4000 / IDE	32 / 768	512	24倍速	3	-

注)米Symantec社製のベンチマーク・ソフト。ディスク診断・修復ユーティリティー集の「Norton Utilities for Macintosh」に含まれる。



図5 Macintosh PowerBook G3 292/14"



図6 Macintosh PowerBook G3 250/13"



図7 Macintosh PowerBook G3 233/12"



図8 Macintosh PowerBook 2400c/24"

カードでG3にアップグレードしようとする人は多いだろう。だがこの方法はお薦めできない。

古いマックには十分なハード・ディスクやメモリーが搭載されていないし、決して安上がりな方法ではないからだ。例えば中古の「Power Macintosh 7600/132」はメモリー16MB、ハード・ディスク1.2GBの構成で10万円程度。最も安価なPCIマック用G3アップグレード・カードは、インタウェア (<http://www.ijjnet.or.jp/Interware/>) から動作周波数233MHzの「BOOSTER 750 233」が出荷されているが、こちらの価格は9万円程度。この2つを合計すると、それだけで19万円となり、アップグレード後の7600と同周波数である、新品のPower Macintosh G3 DT 233の実売価格を超えてしまうのだ。さらにメモリーやハード・ディスクを十分に増設することを考えると、とても得策とは思えない。

ただし3つ以上のPCIスロットが必要なハイエンド・ユーザーが、6つのPCIスロットを持つ昔のマシン(「Power Macintosh 9600」など)を中古で購入してG3にアップグレードするのは、「アリ」だろう。新しいG3シリーズを新規に買って、さらにPCI拡張ボックスを追加購入するよりも安く済むからだ。

PowerBook G3もマイナーチェンジを視野に

今、ノート型マックの新品を購入するのなら大きく分けて2つのパターンしかない。性能重視のPowerBook G3シリーズか、携帯性重視のPowerBook 2400cかである。

まずPowerBook G3シリーズ。ラインナップは、2次キャッシュなし233MHz動作のPowerPC 750、12.1インチDSTNカラー液晶搭載機から、1MBのバックサイド2次キャッシュ付き292MHz駆動のPowerPC 750に14.4インチTFT液晶までの4モデルだった。しかしアップルは98年9月3日に新しく3モデルを発表、これらは全機種14.4インチのTFT液晶とバックサイド2次キャッシュ付きPowerPC 750を搭載する(本号12ページのMacPlaza, 45ページ表2参照)。

バックサイド2次キャッシュは「G3パワーの源」といえるもので、これが「ない」2モデルは通常の同一周波数のPowerPC 750と比較すると、処理性能がキャッシュ「あり」の約70%(「System Info」注)のCPU計測値)と大幅に落ちる。2次キャッシュ容量ではなく、有無が重要なのだ(本誌98年3月号特集「最新CPU, G3のすべて」を参照)。新しいローエンド機(バックサイド2次キャッシュ付きの233MHz, 14.4インチTFT)の価格はオープンだが、予想実売価格が30万円台

VRAM 標準/最大 (MB)	13	800 x 600	16	19	21	1280 x 1024	1600 x 1200	Ethernetポート	幅 x 高さ x 奥行き (mm)	重さ (kg)	その他	市場平均価格	
6	24	24	24	24	24	24	8		245 x 385 x 435	15		29万8800円	Down
2/6	24	24	24	16	16	8	8		245 x 385 x 435	15	Sビデオ入出力端子, 内蔵Zipドライブ	26万8800円	Down
2/6	24	24	24	16	16	8	8		365 x 156 x 430	10	内蔵Zipドライブ	28万9100円	得
2/6	24	24	24	16	16	8	8		365 x 156 x 430	10		22万9100円	
2/6	24	24	24	16	16	8	8		365 x 156 x 430	10	内蔵Zipドライブ	22万8800円	得
2/6	24	24	24	16	16	8	8		365 x 156 x 430	10		18万8800円	得



後半と、現行のPowerBook G3 233/13並みで、注目の1台になることは間違いない。

その一方で、こちらもマイナーチェンジ版出荷後に値下がり期待できるバックサイドなしのモデルを今からウオッチしておく手も、当然残っている。これまでのどのPowerPC 603e搭載PowerBookよりも性能は高いのだから、意外にいい買い物ができるかもしれない。

難しい上位機種を選択

現行PowerBook G3シリーズの上位2モデル「Macintosh PowerBook G3 292/14」と「Macintosh PowerBook G3 250/13」はCPUにバックサイド2次キャッシュを持つPowerPC 750を搭載、デスクトップのG3シリーズに匹敵する性能を発揮する。ただ、この2モデルは極端に販売店の在庫が少なく手に入りにくい。新モデルが登場して値下がり予想されるので、購入するつもりなら、もし在庫を見つけたらすぐに買わないと手に入らないだろう。

価格は、8月末現在、それぞれ70万円台と50万円台と群を抜いて高く設定されている。高いだけあって、どちらでも1台あればデスクトップのマックがこなすほとんどの仕事ができる。この2モデルの間には20万円以上もの価格差があるのだが、違いはCPUとディスプレイのサイズだけ。もちろん速いCPUで大きなディスプレイの方がよいに越したことはないのだが、そこに20万円以上の価値の差があるかどうかは使うユーザーによって分かれるところ。新モデルの価格・性能との比較検討も必要だ。

モバイル志向なら2400を即ゲット

PowerBook G3シリーズの重量は3kgを超える。はっきりいって非常に重い。自動車で動き回る人はともかく、電車通勤ユーザーにとっては、とても日頃携帯する気にはなれないだろう。簡単に動かせるデスクトップ、あるいはiMac以上の省スペースを実現するためのマシンと割り切って使用した方がよい。

現在、唯一の携帯に堪えるマック「PowerBook 2400c/240」は生産が終了、現在の流通在庫のみの販売となる。各販売店とも在庫はかなり少なくなってきた。購入したいと考えるユーザーは、早めに動かないと、手に入らなくなるだろう。

どうしても携帯用のノート型マシンが欲しいという人の選択肢の1つに、次期コンシューマー向けノートを待つという手もある。スペック、価格、デザインなど全くの不明だが、Mac OSが動作するマシンだということだけは発表されている。ただし、登場は99年前半。問題はそれまで待てるかどうかだ。

2400用のG3カードは米Newer Technology社 (<http://www.newertech.com/>) が出荷済み、インタウェアからも登場予定なので、将来、G3マシンにアップグレードすることも可能だ。しかし非常に人気のあるマシンなので、市場から消えつつあるにもかかわらず、価格は28万円台のまま動きは少ない。G3へのアップグレードも15万円程度かかると見られる。PowerBook G3シリーズの最下位モデル、Macintosh PowerBook G3 233/12は25万円台。G3マシンの方が安いという逆転現象がすでに起きている。性能が携帯性か、どちらを取るかがこの2機種選択の分かれ目だ。

製品名	CPU (PowerPC)	CPU動作周波数 (MHz)	搭載OS	HD (MB) / インタフェース	標準 / 最大メモリー (MB)	2次キャッシュ (KB)	内蔵CD-ROMドライブ	内蔵液晶ディスプレイ
Macintosh PowerBook G3 292/14	750	292	Mac OS 8.1	8000 / IDE	64 / 192	1024	20倍速	14.1インチTFTカラー液晶
Macintosh PowerBook G3 250/13	750	250	Mac OS 8.1	4000 / IDE	32 / 192	1024	20倍速	13.3インチTFTカラー液晶
Macintosh PowerBook G3 233/13	750	233	Mac OS 8.1	2000 / IDE	32 / 192	なし	20倍速	13.3インチTFTカラー液晶
Macintosh PowerBook G3 233/12	750	233	Mac OS 8.1	2000 / IDE	32 / 192	なし	20倍速	12.1インチDSTNカラー液晶
Macintosh PowerBook 2400c/240	603e	240	Mac OS 8.0 ⁵	2000 / IDE	16 / 80	256	なし	10.4インチTFTカラー液晶

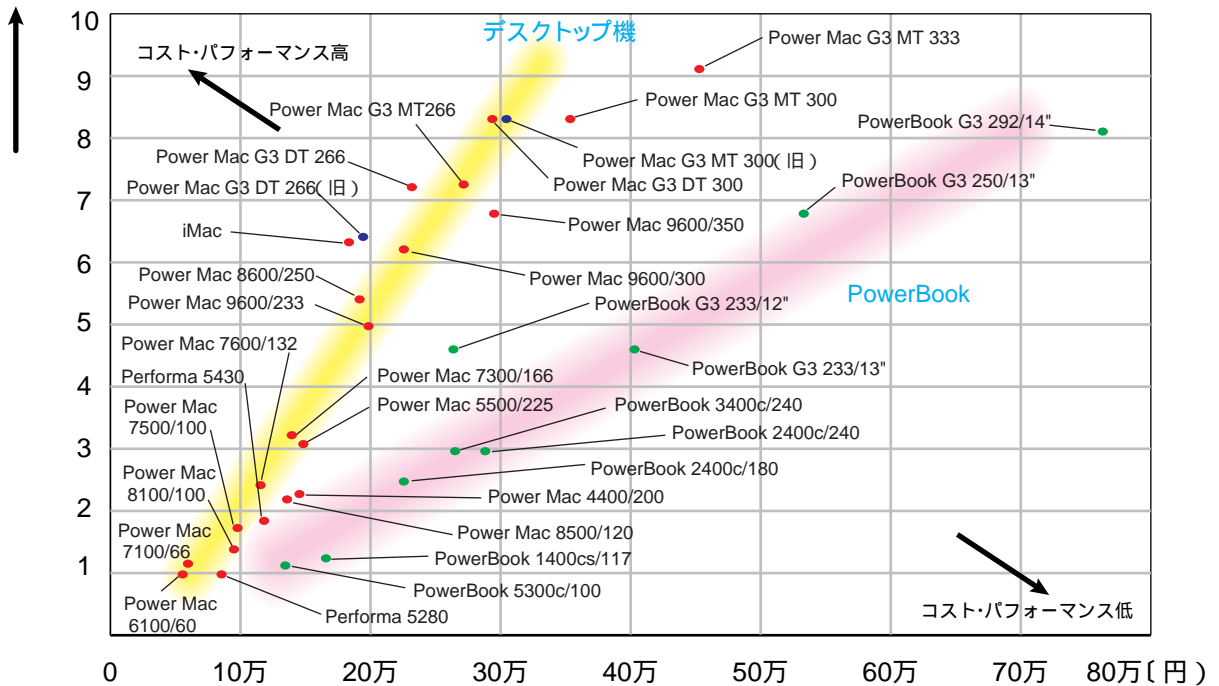


連絡先	電話	ホームページ
アップルコンピュータ FAXAID	FAX(03)3391-1200	http://www.apple.co.jp/

	PowerBook G3 233/14	PowerBook G3 266/14	PowerBook G3 300/14
CPU / 動作周波数	PowerPC 750 / 233MHz	PowerPC 750 / 266MHz	PowerPC 750 / 300MHz
2次キャッシュ (バックサイド方式)	512KB	1MB	1MB
メモリー	32MB	64MB	192MB
VRAM	4MB	4MB	4MB
ハード・ディスク容量	2GB	4GB	8GB
CD-ROM	20倍速CD-ROM	20倍速CD-ROM	20倍速CD-ROM
価格	30万円台後半	50万円台前半	70万円台前半
出荷	98年9月中旬	98年9月中旬	98年9月下旬

98年8月下旬現在の各機種の実勢価格による分布図
 日経MACが過去に行ったベンチマーク・テスト(「Norton Utilities」の「System Info」を使用)の結果と実勢価格により各機種をプロットした。

性能 (Power Mac 6400/60を1とする)



実勢価格 (●が現行デスクトップ製品, ●が現行PowerBook, ●は参考として中古実勢価格)
 価格状況などは随時変化します。本図は、あくまで傾向を把握するための1つの目安としてご参照ください。

表示解像度 (ドット)	最大表示色数	幅×高さ×奥行き (mm)	重さ (kg)	インタフェース ³	その他	市場平均価格
1024 × 768	1670万色	323 × 51 × 265	3.54 ⁴	Ethernet (10BASE-T), Sビデオ出力, 内蔵56kbpsモデム	内蔵フロッピー・ディスク装置	75万8000円
1024 × 768	1670万色	323 × 51 × 265	3.45 ⁴	Ethernet (10BASE-T), Sビデオ出力, 内蔵56kbpsモデム	内蔵フロッピー・ディスク装置	52万8000円
1024 × 768	1670万色	323 × 51 × 265	3.45 ⁴	Ethernet (10BASE-T), Sビデオ出力	内蔵フロッピー・ディスク装置	39万8000円
800 × 600	3万2000色	323 × 51 × 265	3.27 ⁴	Ethernet (10BASE-T)		25万8800円
800 × 600	3万2000色	266 × 47 × 213	2		外付けフロッピー・ディスク装置	28万2800円

3 このほか、全機種にPCカード・スロット (Type II × 2), シリアル / LocalTalk, ADB, 「HDI30」 SCSI, 外部ディスプレイ・ポート, IrDA対応の赤外線ポート, サウンド入出力ポートが各1個備わる。

4 CD-ROMドライブ内蔵時。

5 Mac OS 8.1のCD-ROMが付属。

